

山形県 株式会社キャド・キャム

2018年6月26日(火) 山形新聞 朝刊掲載

ライフステージに合わせた働き方

誰もが働きやすい職場に

育児、家庭生活と仕事を両立

本人の希望や都合に合わせて在宅勤務を柔軟に行うことができるテレワークを導入しています。106人の社員のうち、女性が多くを占めており、育児や家庭生活と仕事とうまく両立できるよう、そして社員みんなが働きやすいように、との考え方です。在宅勤務で仕事と子育てを両立させたり、家族が体調を崩した際に自宅で看病しながら仕事をしたり、といった形で活用している社員が多いようです。



テレワークを導入した
キャド・キャム株式会社の
齋藤士郎代表取締役

生き方に合わせ「自分の仕事は自分で管理」

弊社はビルなどの床の設計図作製を手掛けていますが、みんなが1カ所に集まって仕事をする必要性は必ずしもありません。パソコンとネット環境があり、担当する仕事を各自が責任を持って遂行してもらえれば、勤務時間や形態も含めて「自分の仕事は自分で管理」する形でいいわけです。

有能な人材が、人生のステージに合った働き方を選んでいることで、若い社員も、先輩の働き方や生き方をモデルに、スキルアップの意欲を高めています。一人一人が働きやすい環境を整えることが、結果として会社全体の力も高めるのだと思います。

介護や家事と両立できています

終業時間に帰宅—自宅で仕事も

家事や家族の介護で時間が必要なときなどに早めに帰宅し、自宅で仕事の続きをしています。週の半分ぐらいは、終業時間の前に帰宅しています。家族が入院した際、1カ月ほど、毎日のように病院に顔を出していました。そうした際、定時前に会社を出ることが認められていたため、看病と家事、仕事のバランスをうまくとることができました。テレワークの便利さ、ありがたさを感じました。



テレワークを実際に利用している齋藤奈津美さん

上手に時間を使い、モチベーションも向上

行っている業務内容には専門性があり、丁寧さも求められます。決まった納期は守らなければなりません。テレワークでうまく時間配分することで、仕事をする時は集中し、その上で、仕事以外にやらなければならないこともしっかりできる。時間の使い方が上手になったような感じがします。

現在はこうした形で仕事と家庭生活を両立させていますが、今後状況が変われば、それに合った働き方を選択することができます。そのことが仕事のやりがい、スキルアップの意欲にもつながっています。